

松友会だより

編集 新聞編集委員
松友会



大切な道具を粗末に扱っていません
清永 辰生

十一月ははじめの立冬から十二月はじめの大雪までが初冬です。庭木として植えられている八手(やつで)の葉は、七つから九つに裂けていて福を招く縁起物とされ親しまれています。又色彩のとほしい冬の庭には、赤く色づく南天の実を難を転ずる縁起のいい木とされています。

日本のプロ野球だけでなく、アメリカのメジャーリーグでも活躍したイチロー選手、彼は少年野球の子どもたちから「どうすれば野球がうまくなれますか」と質問されると「グローブやバットを大切にしてください」と答えていました。そういえばミスショットしたテニスプレーヤーが、ラケットをコートに投げつけたりするシーンを見かけることがあります。道具を大切にしない姿はプレーヤーとして見苦しく思います。

「弘法筆を選ばず」という有名なことわざがあります。弘法大師は嵯峨天皇、橘逸勢(たちばなのはやなり)とともに、「三筆」のひとりとして称えられる能書家でした。「弘法筆を選ばず」は空海ほどの書の達人なら、どんな筆でも使いこなし、見事な作品に仕上げるという意味ですが、しかし実際にそうだったのかといえ、空海は次のような言葉を残しているからです。

「能書は必ず好筆を用いる」空海が嵯峨天皇の異母弟の相伴親王(のちの淳和(じゆんな)天皇)に筆を献上した際に、

「良い工人はまず刃を利ぐし、能書家は必ず良筆を用いる」という言葉が添えられていました。一流の大工職人がまず刃を研ぐように書の達人は素晴らしい筆を使う、というようにいわれています。

私たちの生活を考えてみても、使い手にとつての道具は心が通じあうパートナー的な存在になっています。

自分の仕事を完成させるには、日頃使っている道具を大切に手入れを怠らないように心がける必要があります。書きやすいペンだったり使い勝手のいいパソコンだったり、気に入ったノートだったり、自然に愛着の湧く道具を選ぶことにもつながるのです。

暮らしの中の仏教語 「会うは別れの始め」

出会った人とはいつか必ず別れなければならない、という人生の無常や儚(はかな)さを伝えたことわざですが、この語源は仏教で示された八苦(人間の経験しなければならない八つの苦しみのひとつである「愛別離苦(あいべつりく)」にあります。

愛する者と必ず別れなければならないという苦しみのことで、大乘仏教で最も重要な經典のひとつとされる「妙法蓮華経」(略して法華経)の中に「愛別離苦是故会者定離(せこえしやじよりり)」と記されているのが初出といわれています。

十一月度の主たる行事のご案内

今年も残すところ二ヶ月となりました。コロナが第五類に移行しても全国的に収束どころか、いまだ増加傾向にあるという状況です。皆様これまで以上に健康管理に気をつけて元気に過ごしましょう。

☆月例会 十一月十二日(土)
午後一時より開催します。
内容は 川西銭太鼓「幸の会」の皆様による楽しいイベントです。ご期待ください！

☆十二月の月例会は十二月九日(土)
午後一時より開催します。
内容は 年忘れおしゃべり会です。
お楽しみに！

☆十一月誕生月の皆さんです。
紙面にてお祝い申し上げます。

漆原 和子
曾我部英機
曾我部教恵
土井 雅子
中島真佐子
広中 満
松本いそ子
以上7名
(敬称略)

11月 行事予定

(予定表は変更される場合があります)

日	曜	行事	時間
4	土	カラオケ	13:00~16:00
7	火	健康体操	10:00~11:30
8	水	まつがおかサロン	13:00~15:00
9	木	再生资源回収(宝塚・川西)	~8:30頃
11	土	月例会	13:00~15:00
14	火	麻雀	13:00~16:00
15	水	三味線伴奏	13:30~14:30
18	土	カラオケ	13:00~16:00
21	火	健康体操	10:00~11:30
25	土	まつぼっくり	10:00~11:30
25	土	編集会議	14:00~15:00
28	火	再生资源回収(川西)	~11:00頃
28	火	麻雀	13:00~16:00

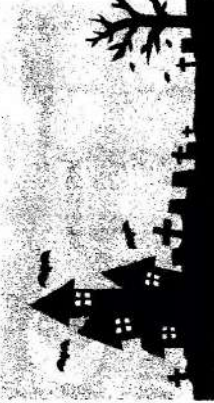
【伝言板】

☆再生资源回収
十一月九日(木) 宝塚 川西地区
十一月二十八日(火) 川西地区
皆さん、いつもご協力をいただき有難うございます。
引き続きよろしくお願ひ致します。

☆会員転出のお知らせ
川西側会員 宇垣貞子様が十月九日に転出されました。皆様によるお伝えくださいとのことでした。
※松友会だよりの原稿をお待ちしております。雑感、紀行文、日記、日々の生活、短歌、俳句、川柳、思い出話など何でも結構です。お寄せください。
お近くの班長、役員へご連絡いただければ嬉しく思います。

地域の皆様のご協力 有難うございます。 今後も再生资源の回収にご協力をお願い致します。		月別再生资源回収成果	
令和5年9月分		令和5年9月分	
新聞紙	1,230 kg	新聞紙	1,230 kg
雑誌	360 kg	雑誌	360 kg
布類	100 kg	布類	100 kg
段ボール	340 kg	段ボール	340 kg
合計	2,030 kg	合計	2,030 kg
回収奨励金 (@ 円)	円	回収奨励金 (@ 円)	円

ご協力ありがとうございました。



古い思い出

畑 悦子

今年の2月頃下り坂を歩く際、足の左側後方にふと異常を感じたので、月1回整体に通っています。帰る頃は身体が軽く心地よく歩いて帰宅しています。処置室では先生の指示に従い、あちらこちらと身体を動かすことも割に手早く、

「なんでそんなに元気なのか？何が好物か？」と問われても、別段答えることはありません。

そう云えば、母方の祖母が99歳迄存命だったことを思い出し、そのことを告げると「多にあり得る話だ」とおっしゃいました。

女性のDNAだけが次の世代に遺伝するが、男性のは伝わらないらしいとの説もあるようです。

中曽根首相当時、兵庫県の高齢者となっていた祖母には、老人の日が近づくと国・県・市からお祝いの記念品が届けられました。「自分が主役、何と応対しようか」等が重荷になったのでしょうか。その年の9月22日か23日頃に旅立ってしまいました。

祖母にとっては私が初孫だったので、特に目をかけてくれ、私も祖母が大好きでした。晩年は祖母の家に行き、耳掃除やカット等させてもらえました。祖母はとてもこわがりでしたが、私には心を許してくれていたのでしょうか。

二つばかり思い出を書かせていただきます。

一、祖母は7人の子供達に恵まれましたが、男児（大正4年生れ）はたった1人だけでした。どれだけ喜ばれたことでしょう。戸籍名は新右衛門です。祖父の名は新太郎で届け出は祖父がしました。家では春次と名づけて、2人共そう呼んでおいででした。祖母の名はハルです。

長じて尋常小学校へ上るべく指定の場所に出向きましたが、待つても待つても一向に名前が呼ばれない・・・と思議さ一杯の気持ちで帰って来、ここで初めて戸籍上とは違うことに気がついたとか？こんな話を聞いて私も含めて孫達の間では「どんな夫婦だったんや」と大笑いしました。

二、生れた時代が悪かったのですね（大正生れと聞いていつもそう思います。）軍隊に召集されました。一人息子だからと、のがれる方法等あったのでしょうか？例によって満州から南へ転進する部隊でもあったのか、左のかなたに日本の島影を目にしなが、リンガロン湾（？）あたりで海の藻くず（船底の任務にあたっていたとか）となつたらしいと、ずいぶん後で知りました。28歳か29歳位でしたらう。

昭和20年8月15日当時、私は小学校3年生でした。その年の冬休みは祖母宅ですごし、3学期の始業式に間に合うように玄関先に立った時、突然外側から扉があいて、おじと同じ部隊の友人だと自己紹介され、おじが彼に「夏服で明石に上陸している。衣類やら他、気をつくものを彼に託してほしい。」と依頼したそうです。祖母はあわてて、その方にお餅少々、現金も包み、明石の住所も聞いていました。祖母は「すぐ追いつきます」の声で、その方を送り出していました。祖父があわててかけつけた処、明石のその場所は何もない空き地だったそうです。

三、当時のありさま

一部始終のやり取りや、当時の玄関先の風景を今もはつきり思い出します。その後時間がたつても何の変化もないので、私は母に聞きました。すると母は以上のような事柄を涙をためて話してくれました。

いくつかのナンバーワン

一 世界で最も恐ろしい生物とはライオンやサメや毒蛇が頭をよぎる人が多いのでは？ 違つたのです。

正解は蚊です。世界中で蚊に刺されて死ぬ人は年間75万人に上るそうです。年間3億人の人がマラリヤに感染しています。

2位は人です。年間50万人の人が、テロや紛争で「ヒト」に殺されているのです。3位は蛇、日本ではせいぜい数十人ですが、世界では50万人が犠牲となつています。

4位は犬で、狂犬病ウイルスで年間2万5千人が亡くなつています。狂犬病のない国は、日本と英国ぐらいたそうです。

二 世界で最も平和な国

答えは、1位アイスランド、2位デンマーク、3位ノルウェー、4位ニュージーランド。日本は昨年の安倍首相射殺事件で、4位から5位へ降格されました。

三 幸福度一位

日本総合研究所が発表した「47都道府県幸福度ランキング」で福井県が4回連続の1位となりました。経済力、健康、仕事、文化、教育などなど75の指標から算出されたそうです。2位は富山、3位は東京でした。

福井といえば、代表的産業の一つが鯖江市を中心とする眼鏡フレーム製造です。国内フレーム業界での占有率は97%、世界市場でも一割とのこと。

繊維産業でも、高付加価値を生む炭素繊維で強みを持つているそうです。

四 おすすめ旅行先

最後に、旅行の好きな方へ。ニューヨークタイムズが発表した「2023年に行くべき52か所」で、盛岡市がロンドンについて2番目に入りました。見過ごされがちだが、魅力ある街とのこと。豊かな自然と和洋折衷の伝統的な建物が並ぶ市内と紹介されています。

盛岡の古名は「不来方（こずかた）」で、里人を苦しめる悪い鬼を神が懲らしめ、「二度と来ない」と誓わせた伝承に由来するとのこと。二度と来ないという名を持つ都市なんて世界でも珍しいのでは？

おわり 和泉 清

ホトトギス 黒田 千代子（九十八歳）

「鳴かぬなら ころして しまえ ホトトギス」

「鳴かぬなら 鳴かせてみせよう ホトトギス」

「鳴かぬなら 鳴くまで待とう ホトトギス」

有名な戦国武将の性格をあらわした句とされていますが、どれもホトトギスは鳴かなければ価値がないものだという考え方です。

「経営の神様」とよばれる松下幸之助は「鳴かぬなら それもまたよし ホトトギス」という句を詠み、あるがままに受け入れるという考え方もまた大切であると言つたそうです。

人は思いどおりにならないことに、真正面からうつつたえたり逆にやわらかく接してみたりなんとかしたいと考えるものですが、まづ思いどおりにならないことを受け入れることで、選択肢の幅はぐぐんと広がるのではないのでしょうか。

「一分八間（いちぶはちけん）」という言葉があります。もともとは弓道の用語とされ、弓を射る際に手元で一分（3ミリ）ずれると的に当たるころには、8間（14メートル）もずれるということがらをあらわしています。人生もおなじことが言えると思います。

編集後記

長かつた暑い夏がやつと終わつたら、朝晩が急に寒くなつてきました。コロナ・インフルエンザ・風邪に注意しましょう。